

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

当校 HP にも掲載中!
⇒R4~の通級便り、
R5.4~のきこえ通信

<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/support.html>

新潟県立長岡聾学校 通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

Tel 0258-38-0210 (通級指導教室)

*18:00頃までお願いいたします。メールもご利用ください。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

令和5年度 第9号 発行：令和6年1月

謹賀新年



旧年中は「きこえ通信」をお読みくださり、ありがとうございました。また、当通級の生徒保護者の皆様、生徒在籍校の先生方には大変お世話になり、ありがとうございました。今年も、きこえについて情報をお届けできるように努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

補聴器について



「聴覚障害教育
これまでとこれから」より
(脇中起余子:北大路書房)



難聴通級に通うほとんどの生徒が、補聴器を使用しています。補聴器は音を大きくしてくれる機械で、生徒たちは「なくてはならない」、「友達としゃべる時に絶対に必要」、「助けてもらっている」と大切に使っています。上記の漫画のような時にどうするか、聞いてみたところ「全部分かるわけではない。」、「小さい声や音は分からないこともある。」、「遠くから言われると分からないことがある。」など書いていました。そのとおり、各自のきこえかたによっては、「あ」が「あ」、「あ」のようにゆがんだりぼやけたりしてきこえたりすることがあります。他には、後ろからまたは遠くから話されると、補聴器のマイクの位置に音がしっかり入らないため、何と言っているのか分からないことがあります。周囲の人は「補聴器を付けているから分かるはず」と思わずに、「きちんと聞こえるようにするにはどのように話そうか」と気遣っていただけるとありがたいです。研修に伺った学校の先生方には「前から」、「ゆっくり」、「一人ずつ」とお伝えいたしました。このようにして、コミュニケーションでの困り感をより少なくして過ごしてほしいと思います。また、メモなどの文字情報の活用も大切です。

補聴器はきこえにくい人にとっては大切なツールですが、精密機械であるためとても高価です。手帳のある人には障害者総合支援法による公的助成がありますが、手帳のない18歳以下の子どもたちには、10年ほど前から各市町村で独自の制度で補助を行っていただいています。最近、対象年齢が拡大した地域もあります。

校内研修会の紹介

先日、当校の職員の難聴のあるN先生のお話をお聞きする機会(幼稚部保護者への研修会)がありました。ご了解を得て掲載させていただきます。N先生には通級保護者会でもご協力いただき、改めてお話をお聞きして、素晴らしいと思ったことがたくさんありました。N先生が小中学校の頃は、千手小学校のきこえの教室が南中学校の一角にあり、そこに時々行って放課後に個別指導を受けていたそうです。補聴器も今よりは使いにくく、ロジャーもない中で、一生懸命勉強に励んだそうです。「人の2倍、3倍はがんばる」「語彙を増やす」「いろいろな経験を積む」「信頼できる人を見つける」など、大切なお話をしてくださいました。

災害に備えて ～自分から伝えよう～

1月1日の地震では、県内も多くの地域で大きな揺れを感じました。けがをされた方、家屋の損壊、水道などライフラインの困難などが報じられています。影響があった方に心よりお見舞い申し上げ、早期の復旧を祈ります。

さて、難聴のある場合の災害への備えについて、9月のきこえ通信でいくつかお知らせいたしましたが、改めて伝えさせていただきます。9月のきこえ通信では「持ち出す物」「避難所の確認」を中心にお知らせしました。今回は、「情報保障」について、お知らせします。

災害時に難聴があると困ることの一つに、「音声での連絡が聞き取りにくい」ことがあります。そのため、文字による情報提示や筆談などを行う必要があります。実際に食料の配給などの大切な連絡が分からずにもらえなかった例もあり、現在は各自治体のHPなどで、文字での連絡事項の表示などを行うことを呼びかけています。また、「自分からの発信」も大切です。今は家族と一緒にかもしれませんが、一人の時に被災したり、将来一人暮らしの可能性もあつたります。「筆談をお願いします」「今の放送は何ですか？」など自分から伝えないと、相手は「この人は難聴だから筆談しよう」と自動的に分かってはくれません。他にはヘルプマーク、耳マーク等の使用、日頃から地域の防災訓練に参加するなど、自分の存在を分かってもらうことも大切です。下記のサイトもご参照ください。

NHK「障害に応じた準備や対応～聴覚障害～」

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/saigai/disabled/case02/index.html#Main>



聴覚障害者災害時
支援パンフレット(宮
城県聴覚障害者情
報センター)より

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所「災害時に障害のある子どもへの配慮

～聴覚障害のある子どもへの配慮」

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/disaster/consideration/consideration05



一般社団法人 言葉のかけはし HP を紹介させていただきます。

たまたまネットニュースで「お子さんが難聴とわかり、一般社団法人を立ち上げた」との記事を拝見しました。難聴の理解や支援方法などを広める活動をされています。TV でも紹介されたようです。

以前、「なんちょうなんなん」という動画を紹介しましたが、この動画も掲載されています。HPには、『難聴者の「学ぶ」「働く」を応援する社会づくり』という文字が大きく目を引きます。難聴のある子への学習支援、就労支援などの記事が豊富で、多くを学べます。まさに、難聴のある子どもたちや関わる方々が悩んでいるところです。最近、「難聴者のシゴトのロールモデル」という新企画を行っているそうです。担当の方に、「HP紹介をきこえ通信へ掲載して良いでしょうか」とお聞きしたところ、ご快諾いただきました。ぜひ、ごらんください。*通信を紙でもらっている場合、データでもらったがリンクが繋がらない場合は、【】内の言葉で検索してください。

【一般社団法人 言葉のかけはし HP】

<https://www.kotoba-bridge.org/>



【なんちょうなんなん】

<https://photos.google.com/share/AF1QipPNmynNmyTRQ8g3sUiJ-dDY80sOAK9oIwdWfTVacN4MXIilpxNT7NLDIh0OgUHouA?key=MExBb3FES0gzRmFIRkIkRzA0aWljUmw5anh3SINn>

【「難聴者のシゴトのロールモデル」】

https://readyfor.jp/projects/nancho_kakehashi/announcements/300880